

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	1		
	2	職員の配置数は適切であるか	6	2		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	2		職員の身体の負担は、訓練室の中にカーテンで囲えるスペースを作って、移動介助の距離を減らすようにしています。利用者(子どもさん)に対しては、もともとバリアフリーの設計がなされている建物で、不都合はないと思います。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	4		昨年より支援計画を職員が確認する時間を確保するようにしました。PDCAサイクルも、管理者としては職員に参画する頻度を増やしてきました。アンケートには第2回がどちらともいえないが9名中6名、今回の第3回は8名中4名と、少なくなりました。改善の効果は職員の実感としても出たようです。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	3	1	第1回、第2回の自己評価表の検証を行い、改善しつつあるものと、改善できていないものがあります。引き続き、検証のあと、改善を続けて、HIROキッズがより良くなるように努めます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	4		自己評価の結果はHIROキッズのホームページで公開しています。 http://kihon.or.jp
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	1		令和2年4月より、第三者委員会の構成員が刷新しました。開催の頻度を増やして改善に努めています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	4		ミーティング時の情報共有や、外部の研修に参加しています。ただ、日常の業務の中で変更も生じ、今年度は研修ができないこともありました。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	3		アセスメントは計画相談の担当者や保護者から聴き取り、1年に一度更新しています。ミーティングで職員と話し合いながら個別支援計画案を作成して担当者会議を経て個別支援計画を作成しています。職員がミーティングで利用者の様子や個別支援計画にふれる機会も増え、少しずつ職員間での共通理解が進んでいます。

適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	4	アセスメントについてもミーティングで職員間で話し合う時間は増えました。アセスメントツールは以前から使用しています。他県の発達障害支援センターの書式がまだうまく活用できていません。改善して参ります。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	3	活動プログラムは常勤職員を中心に話し合っています。ミーティングで議論したことを活動プログラムに反映させています。職員間で意見を出し合い、より良いプログラムにしていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	5	HIROキッズも令和3年3月で6年目となり、プログラムの立案には苦勞する面があります。活動プログラムが固定化しないよう、職員で話し合いながら工夫をしていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	4	ミーティングで利用者について職員間で話しています。それによってお子様の共通理解をすすめています。HIROキッズでは個別対応を重点的にやっており、継続します。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1	HIROキッズでは個別対応が充実しています。集団活動は利用者(子どもさん)が対応できる範囲で緩やかに参加させています。利用者(子どもさん)の気持ちもできるだけくみ取りながら、一方で集団の力を利用して活動を行って参ります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	4	午前中に送迎確認、その日の注意点などを話しあっています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	4	1日の活動後、振り返りを行っています。その日の出来事、反省点を職員間で話し合っ、支援に生かせるよう努めています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	2	正しい記録を取るよう努めています。今後も支援の検証・改善に努めていきます。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8			計画の見直しは担当者会議で職員数名で話し合い、その後児童発達支援管理責任者が立てた計画案と照らし合わせて作成しています。職員の意見も反映されてきています。計画を職員で話し合うことで、共通理解が進んでいます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	3	4	1	ガイドラインを意識しながら利用者(子どもさん)の健全な育成を図って参ります。職員が共通認識を持ちながら、利用者(子どもさん)の特性に合った関わりに努めます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	3		児童発達支援管理責任者がサービス担当者会議に出席することは多いですが、時間調整ができる会議では直接支援をする職員が会議に出席しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	2		利用者(子どもさん)が持ち帰る下校時刻予定表を見せてもらったりして、時間の確認を行っています。保護者にも連絡を取ってさまざまな調整をしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	5		対象のお子様がいらっしゃるときに、計画相談、病院、学校の連絡会議に参加させていただき、情報をもって対応しています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	3		ここ2年間、新1年生のお問い合わせはなく、保育所や幼稚園への訪問はしておりません。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	6		今年、高校を卒業する利用者(子どもさん)がいて、次の事業所の計画相談の方が来所していただき、引き継ぎができました。中学生の卒業生もいて、HIROキッズを卒業となれば、次の事業所に引き継ぎます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	6	1	八女市のリーベルネットワーク、広川町の自立支援協議会に加盟しています。発達障害者支援センターあおぞらの研修会にも参加しています。第三者委員会からも専門的な助言を受けています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	3	1	毎年クリスマス会の時に、毎年中学校の吹奏楽部の生徒さんが来てくれて交流がありましたが、今年度はコロナの為初めて交流が出来ませんでした。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	5	1	令和2年に広川町の自立支援協議会が発足し、11月に1回目の会議が行われました。今後2か月に1回、会議が行われる予定で、積極的に参加いたします。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	2	1	モニタリングの時、送迎の時、お電話やラインなどのやり取りで、保護者とお話しして共通理解に努めています。

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		7	1	ペアレントトレーニングの研修を自立支援協議会に希望しています。保護者の方への対応力向上は課題ですが、今後知識・経験を重ねて努力して参ります。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	4		HIROキッズの利用の契約時に説明をしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	4		保護者の方への子育ての悩みに対する助言と支援は不十分です。現在、HIROキッズに保護者の方々が気兼ねなく来れるように、呼びかけをしています。今後知識・経験を重ねて努力して参ります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	5	2	令和2年度の保護者会の開催は叶いませんでした。令和3年度の前半に1度、その後は毎年度末に保護者会を行うよう、ミーティングで決定いたしました。実行できるように致します。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	4		日頃努力していますが、残念ながらうまくいかないこともありました。迅速な分かりやすい報告が出来なかったことがあります。今後そのようなことのないよう、気をつけて参ります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	1		機関紙「ひろば」を発行しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	8			取り扱いに十分気を付けています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1		保護者の方が分かりやすい言葉でお伝えするように努めています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	6		地域の方々にHIROキッズの活動を知ってもらって、地域に根差していけるよう努めていきます。地域に開かれた事業運営は課題です。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	2	1	職員や保護者の方への周知が未だ不十分です。緊急時、防犯、感染症対応マニュアルを周知いたします。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	2		これまで1年に2回の火災避難訓練を実施しています。しかし、他の非常災害を想定した必要な訓練は実施できていません。まずは職員で話し合うように致します。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	2		事業所内のミーティングで15分間、虐待防止の手引きを中心に勉強しています。外部の虐待の研修には職員を参加させるように努めています。虐待の問題は不断の努力が必要であると考えています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	3		身体拘束は、お子様ご本人や、他のお子様の身に危険が及ぶ恐れがある時に拘束する旨を保護者の方にお伝えしています。職員に危険が及ぶ行為の時に止むを得ず拘束することがあります。平成30年より個別支援計画にも順次記載しています。今後も組織的に共通認識をもつように話しあっています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	4		現在医師の指示書が出ておられるお子様は在籍していません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	2		ヒヤリハット事例は常に出てきます。ヒヤリハットの段階で気づいて、深刻な事故を回避していけるように努めて参ります。